

静岡ホビーショー 「小中高校生招待日」を初開催



経済産業部 商工業局

開催決定までの経緯

2018年5月10日 初めて川勝知事がホビーショーを視察

知事がその場で提案

**「子供たちに見せたい。
教育効果がある。」**



静岡模型教材協同組合理事長

「喜んで協力したい」

その場で回答

直後に、経済産業部から教育委員会へ協力依頼
翌日から、組合は小中高生招待に向けて検討開始

経済産業部・教育委員会

- 体験コーナー、製造工程も見せてほしい。
- 混雑しないで、じっくり見せてほしい。

組合

- 業者招待日の半日はどうか。
- 前日は搬入作業中の出展者もいる。

実施内容

- 体験コーナー、製造工程の見学を実施
- 小学生は午前中から、中高生は放課後に来場
- 一日実施

2018年8月22日、組合理事会は子供限定の招待日の追加を決定！

初日は小中高校生招待日

+業者招待日（2日）・一般公開（2日）

開催までの入念な準備

①参加学校が集まるか

- 教育委員会、私学振興課を通じて呼びかけ
- 地域産業課が直接学校訪問、主旨を説明

小中高校生 計5,200人が応募

②体験メニューをどのくらい用意できるか

- 5,200人の児童・生徒が集まることを聞いた途端に**出展者の目の色が変わる**

体験の数と内容が一気に充実

③バスが同時に何台も押し寄せて大混乱するかも

- 組合、県、静岡市、ツインメッセ、警備会社が集まり、運営方法を何度も打合せ

バス到着時間を分単位で設定

④運営スタッフが足りるか

- 城南静岡高校、聖光学院中学校**自らボランティアに名乗り**

学生ボランティアを300人確保

県内各地から小学生3,000人、中学生800人、高校生1,400人が集まり、盛大に開催



児童・生徒の声

参加者



- ・見るのも作ったりするのも楽しく最高の1日だった(小学生・男子)
- ・楽しいとは分かっていましたが、ものづくりがこんなに楽しかったのは初めて(中学生・女子)

学生ボランティア



- ・ものづくりのおもしろさに気づく大きなきっかけになった。
- ・ボランティア実施生徒の約7割が「自分のためになった」と回答

「県民のこえ」より

ものづくりの楽しさを体験し、本当に良い経験をさせていただいたなと思います。知事に感謝の言葉を贈りたい。(児童の親)



出展企業の声

イベントの感想

- 良かった。涙が出そうになった。（A社社長）
- 子供達がこんなに喜んでくれるとは気付かなかった。やって良かった。57回やってきたが、**子供たちを招待することは思いつかなかった。**（B社社員）
- 子供たちの本質は今も昔も変わっていない。**（C社社長）

今後に向けて

- 小中高校生招待日を**来年度以降も実施したい。**（組合理事長）
- 来年は、数社が連携した体験メニューを考えたい。（D社社員）
- 今回展示のみだった企業から体験メニューを実施したい**との話があった。（組合事務局）

組合は、来年度の実施に向けて検討開始
「生きる道」としての仕事を学ぶ
環境づくりを進めていく



塗装体験コーナー



放送ボランティア